



リフォーム相談を受ける津幡副委員長

「けんせつ」前号に引き続き、分会活動経験交流集会全体会での豊島、北、江戸川の3支部の報告を紹介しします。(見出しは編集部)

# 活動家を増やすために 豊島 北 群会議オルグの実践とその後 地域とともに成功させた住宅デー 江戸川

豊島・かなめ

## 変化は住宅デーから

### 大浦康昭支部副委員長 原田陽弘かなめ分会執行委員



大浦さん

【豊島・ビルメンテナンス・大浦康昭さんの話】自分の分会が変わり始めたのは、新しい分会長となってからの住宅デーからでした。分会の中の組合員だけでは、包丁研ぎと



フルハーネス講習で講師を務める原田さん(左)

あと催しもの一つぐらいが精一杯、場所も狭いぐらゐの公園がちよどいという感じでしたが、広い場所に変え、組合員の奥さんのつながりでフリーマーケットなどを行なっていたいただきました。また、これまで直属であった事業所が同じ分会の仲間つながりに入り、住宅デーなどに参加し、大きな力になっていきます。

す。昨年分会執行委員になっていただきました。



原田さん

### 分会にも人間ドラマがある

【豊島・とび・土工・原田陽弘さんの話】積極的に活動するようになったのは去年の8月から9月くらいです。何回も顔を合わすうちに自分の

名前を覚えてもらえ、酒を飲んだり、いろいろ話したりして仲良くなり、今は組合活動が楽しくて仕方ないです。婚活パーティーをやったところがあると聞き、今回、自分が提案して、去年の12月に開催し、満足しています。これから皆さんが参加したいと思えるような企画を考えていきたい。今年の8月31日にエプロレクス交流会を企画しました。こういうのがきっかけで組合活動に入ってくる人がいると思います。今日の報告を聞いて、人と人が関わり合っていくので、各分会・各支部でいろいろとあると思えました。そこには人間ドラマが生まれると思います。かなめ分会にも人間ドラマがあります。これからはかなめドラマに自分も参加していきたいなと思います。



宮下さん

【北・内装・宮下幸則さんの話】昨年、次期群長は組合番号順で交代していくことと、次年度までに立候補する人がいた場合はその人にお願いしていくことを群で確認した様子で報告しました。その後、5群に加入した仲間が群長を引き受けてくれたのが今回の映像です。現在は毎月決まった時間に会議が始まり、群会議の話題で組合の取り組みを説明し、署名やハガキ要請などに取り組んでいます。

## 仲間の声を引き出す 宮下幸則支部副委員長 小川弘之北東分会5群群長

北・北東



北東分会5群の群会議

【北・内装・宮下幸則さんの話】昨年、次期群長は組合番号順で交代していくことと、次年度までに立候補する人がいた場合はその人にお願いしていくことを群で確認した様子で報告しました。その後、5群に加入した仲間が群長を引き受けてくれたのが今回の映像です。現在は毎月決まった時間に会議が始まり、群会議の話題で組合の取り組みを説明し、署名やハガキ要請などに取り組んでいます。



小川さん

【北・板金・小川弘之さんの話】役員の問題ひとつをみて、協力者が必要であり協力者を増やすためには、仲間同士が仲良くなることにつながると思います。そのために、毎月の群会議に全員が参加することを重視しています。また、群会議の援助金などを利用して、群の飲み会や忘・新年会など開催しながら、話し合える関係をみんなで作っていくかと思っています。

去年の話で役員問題で大変だったようですが、ベテランの前群長にいろいろな手助けもして頂き、やっていく中で協力してくれる仲間も出てきました。毎月の群会議を楽しく話し合いがたいい出来ることで、自分たちのやりたいことなどが出てくれば、みんなでやろうと協力者が増えると思います。まずは、毎月の群会議を重視して、一歩一歩頑張っていきます。



野崎さん  
江戸川・事業所南

## メイン会場に750人 野崎高志支部書記

野崎高志支部書記

【江戸川・書記・野崎高志さんの話】江戸川支部では毎年、各分会が持ち回りでメイン会場となり、区役所や消防署などの協力を得ながら住宅デーを開催しており、今年のメイン会場は事業所南分会が担当することになりました。これは事業所分会が設立されてから、初の試みで、前例がない大きなイベントとなり、成功させるため、参加者の確保が大きな課題となり

きつかけも「会社が土建に入っているから」という理由で、組合活動に参加する意思のある組合員が非常に少ないことが問題です。分会役員のほと

進める中で地域とのつながりを深め、協力を得ることで解消することができました。3年前から地域の方に対して東京土建のイベントへの招

保し当日の広場や集会所などの地域施設を優先的に利用できるように準備してきました。また、5月の大型連休には

ました。その結果、当日の住宅デーでは、十分な参加者、約90人を確保するとともに、来場者としては750人以上がありました。

当日、区役所の担当部長が来賓として訪れました。例年行なわれている包丁研ぎ、まな板削り、消防署による消防車の展示、子ども用の消防服を着ての写真撮影など人気のもがありました。

【お詫びと訂正】7月20日号3面1段目の見出し「こがひが再建物語は、正しくは「こがひが再建物語」でした。お詫びして訂正します。